

退職金制度等の実態に関する調査

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
 中小企業退職金共済事業本部

<調査の概要>

①調査対象

企業調査：東京商工リサーチの企業データベース 1,146,419 社を対象とし、従業員規模別に抽出率を設定し、企業 8,000 社を抽出した。

個人調査：抽出した企業に対し、1 企業あたり正規従業員 1 名（計 8,000 名）とパート従業員 1～2 名（計 16,000 名）の記入を依頼した。

②調査実施期間 平成 19 年 10 月 29 日～11 月 20 日

③有効回収数

企業調査：1,692（有効回収率 21.2%）

個人調査（正規従業員）：1,998（有効回収率 25.0%）

個人調査（パート従業員）：805（有効回収率 5.0%）

④調査結果の推計

企業調査については、従業員規模別の回収率を用いて母集団における回答状況を推計した。調査結果には、この推計値を用いている。

<調査結果>

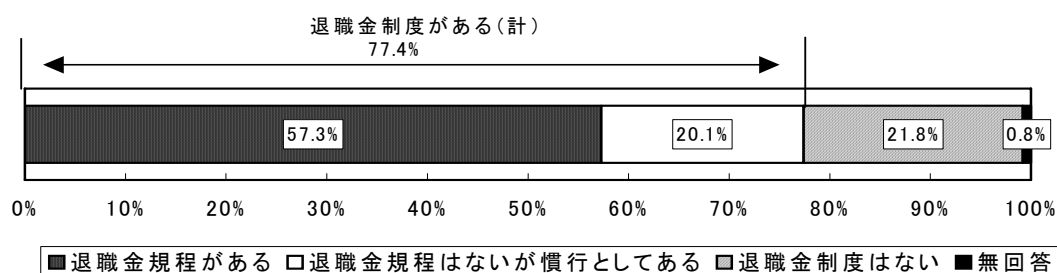
I. 企業調査

1. 正規従業員に対する退職金制度

(1) 退職金制度の有無

退職金制度の有無についてたずねたところ、「退職金規程がある」が 57.3%で最も多く、「退職金規程はないが慣行としてある」（20.1%）と合わせると 77.4%の企業が退職金制度を実施している。なお、「退職金制度はない」は、21.8%となっている。

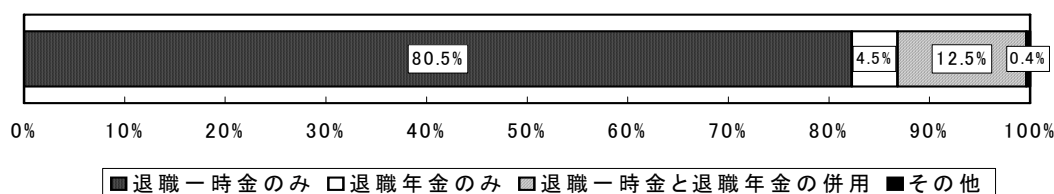
図 1 退職金制度の有無：単数回答



(2) 退職金の支給形態

退職金制度を実施している企業について、退職金の支給形態をみると、「退職一時金のみ」が 80.5%を占め、「退職一時金と退職年金の併用」が 12.5%、「退職年金のみ」が 4.5%となっている。

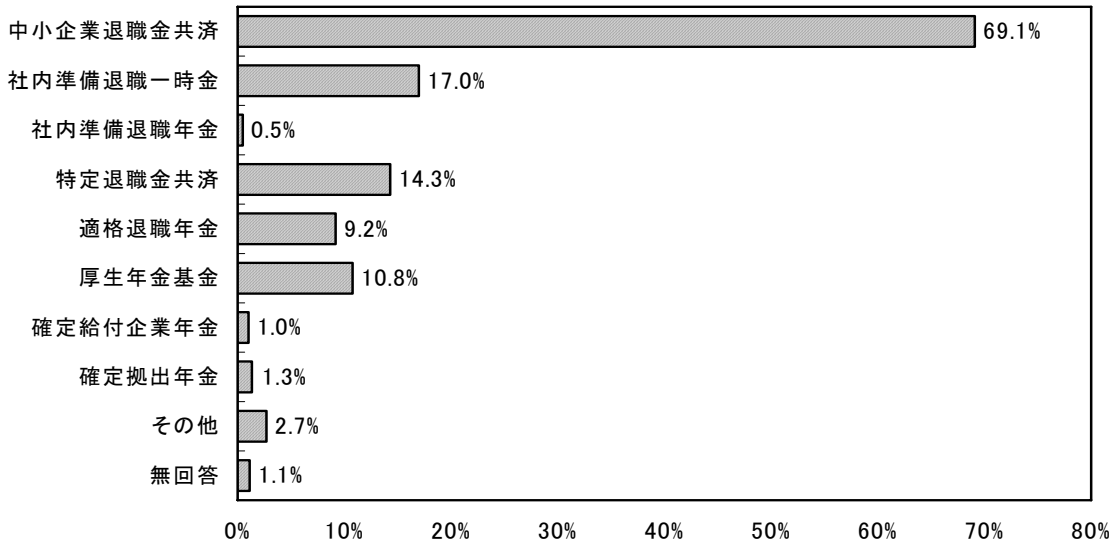
図 2 退職金の支給形態：単数回答



(3) 退職金の支払準備形態

退職金制度を実施している企業に利用している支払準備形態についてたずねたところ、「中小企業退職金共済」が69.1%と最も多く、次いで「社内準備退職一時金」が17.0%、「特定退職金共済」が14.3%、「厚生年金基金」が10.8%、「適格退職年金」が9.2%となっている。

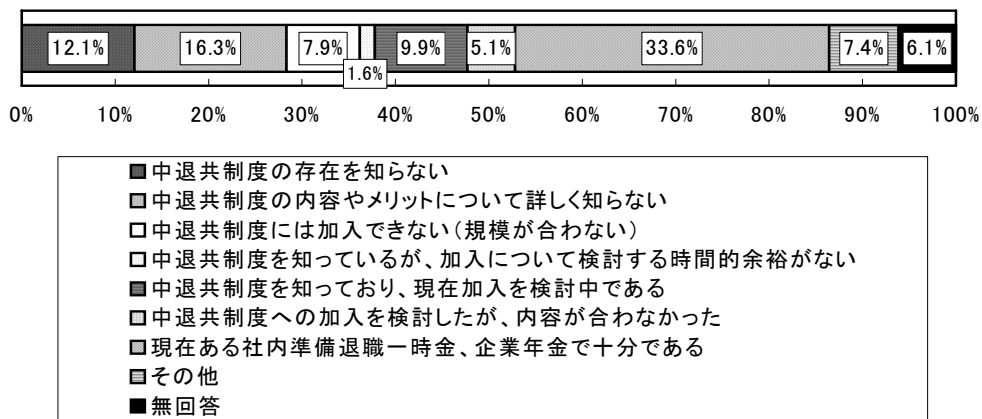
図3 退職金の支払準備形態：複数回答



(4) 中退共を利用しない理由

退職金制度を実施している企業のうち、「中小企業退職金共済制度」には加入していない企業に、加入していない理由をたずねたところ、「現在ある社内準備退職一時金、企業年金等で十分である」が33.6%で最も多い。次いで、「中退共制度の内容やメリットについて詳しく知らない」が16.3%、「中退共制度の存在を知らない」が12.1%で続いている。

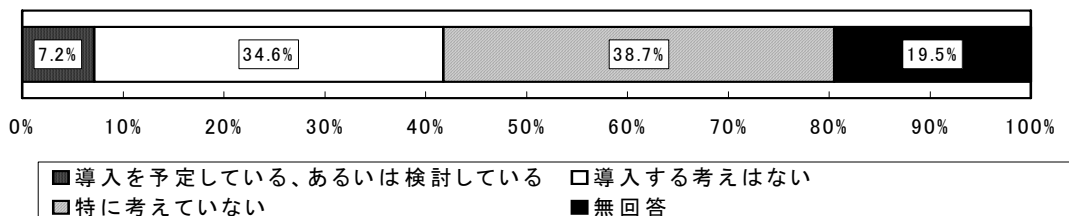
図4 中退共を利用しない理由：単数回答



(5) 退職金制度の導入

退職金制度がないという企業に、今後の退職金制度導入予定を聞いたところ、「導入する考えはない」は34.6%、「導入を予定している、あるいは検討している」は7.2%となっている。また、「特に考えていない」は38.7%である。

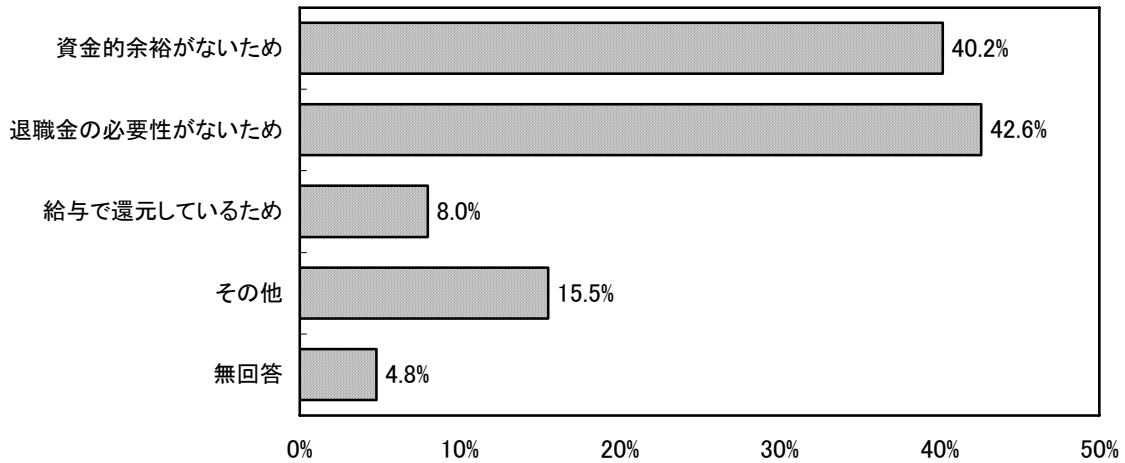
図5 退職金制度の導入：単数回答



(6) 退職金制度を導入しない理由

現在、退職金制度はなく、今後も退職金制度を導入する予定はないという企業に、その理由をたずねたところ、「退職金の必要性がないため」が42.6%、「資金的余裕がないため」が40.2%、「給与で還元しているため」が8.0%となっている。

図6 退職金制度を導入しない理由：複数回答



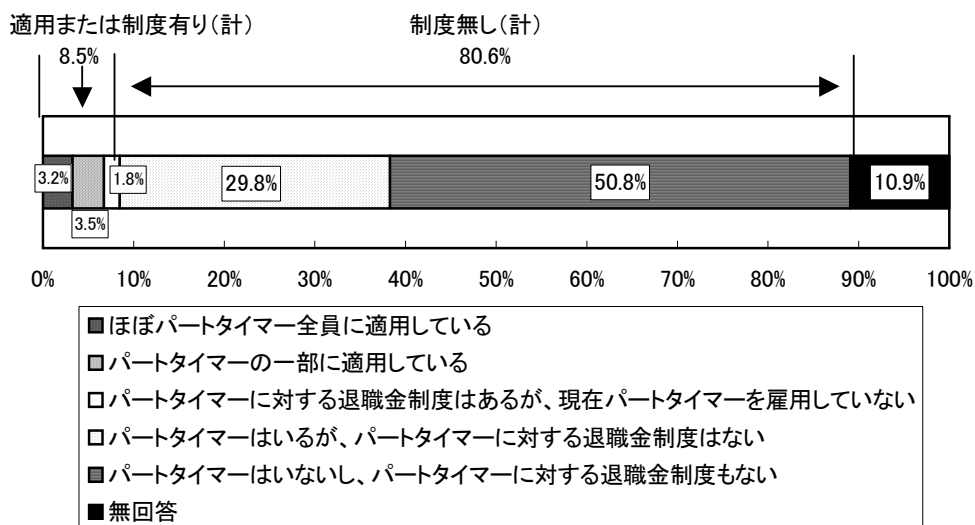
2. パート従業員に対する退職金制度

(1) 退職金制度の有無

退職金制度を実施している企業に、パートタイマーに対する退職金制度の有無をたずねたところ、「パートタイマーはいないし、パートタイマーに対する退職金制度もない」という企業が、50.8%を占めており、「パートタイマーはいるが、パートタイマーに対する退職金制度はない」(29.8%)と合わせると80.6%の企業がパートタイマーに対する退職金制度がない。

一方、「ほぼパートタイマー全員に適用している」は3.2%、「パートタイマーの一部に適用している」は3.5%、「パートタイマーに対する退職金制度はあるが、現在パートタイマーを雇用していない」は1.8%で、それらを合わせると、パートタイマーに対する退職金制度を設けている企業は、8.5%となり、1割弱となっている。

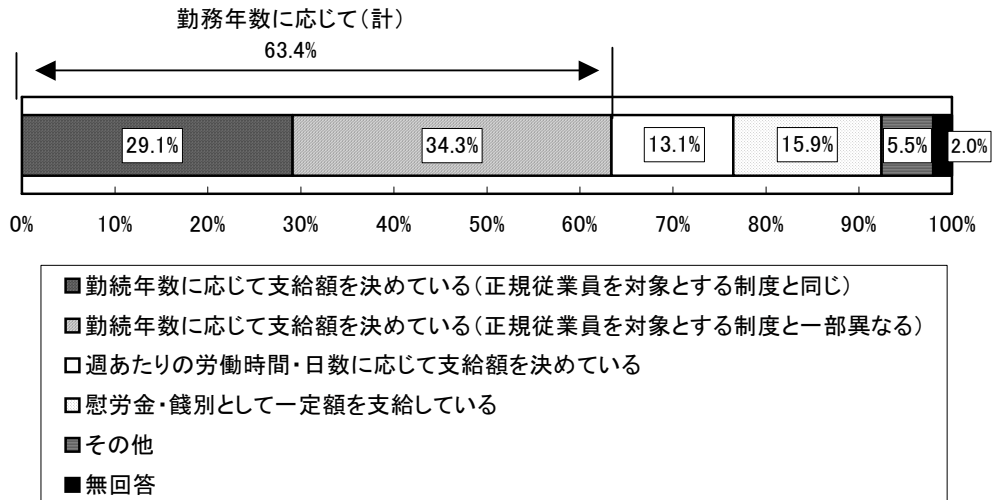
図7 退職金制度の有無：単数回答



(2) 退職金制度の内容

パートタイマーの退職金制度があるという企業に、その制度の内容をたずねたところ、「勤務年数に応じて支給額を決めている（正規従業員を対象とする制度と一部異なる）」が34.3%と最も多く、次いで「勤務年数に応じて支給額を決めている（正規従業員を対象とする制度と同じ）」が29.1%で続いており、それらを合わせると63.4%が勤務年数に応じて支給額を決めている。「慰労金・餞別として一定額を支給している」は15.9%、「週あたりの労働時間・日数に応じて支給額を決めている」は13.1%となっている。

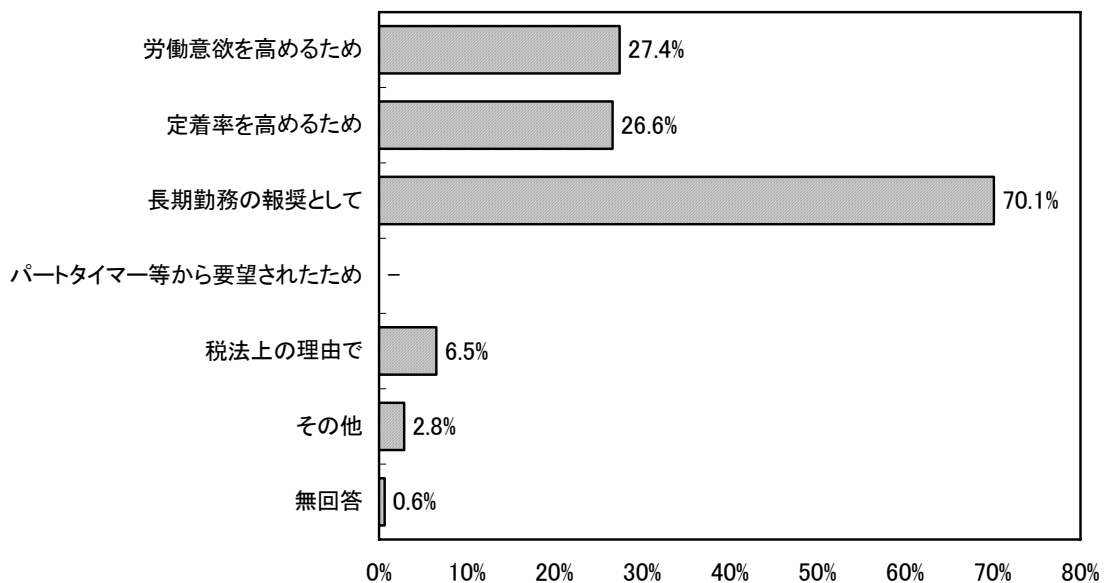
図8 退職金制度の内容：単数回答



(3) 退職金制度を設けた理由

パートタイマーに退職金制度を設けている企業に対して、その理由をたずねたところ、「長期勤務の報償として」が70.1%と最も多く、次いで「労働意欲を高めるため」(27.4%)、「定着率を高めるため」(26.6%)となっている。

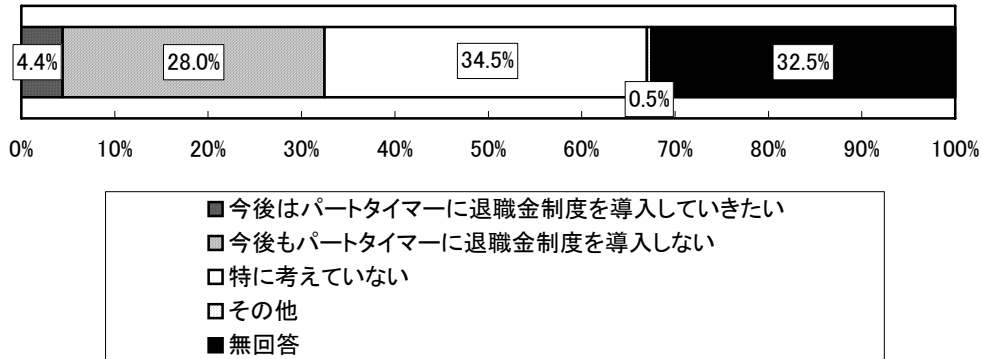
図9 退職金制度を設けた理由：複数回答



(4) 退職金制度の導入について

今後、パートタイマーに退職金制度を導入するかどうかたずねたところ、「今後は退職金制度を導入していきたい」は4.4%と1割に満たず、「今後もパートタイマーに退職金制度を導入しない」が28.0%となっている。「特に考えていない」は34.5%を占める。

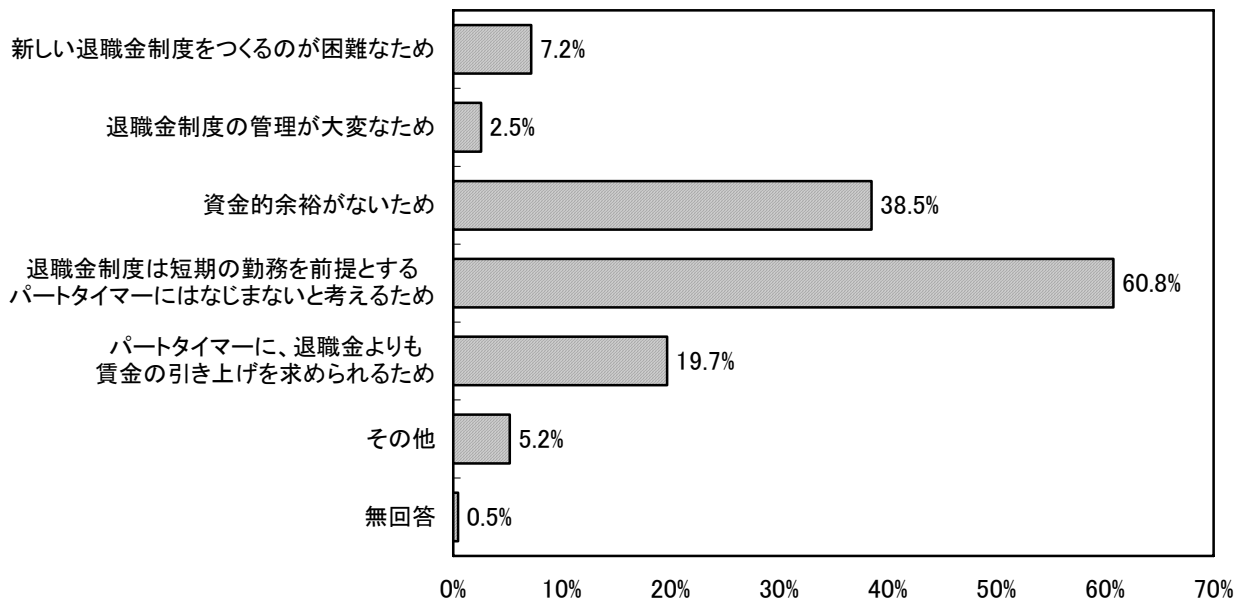
図 10 退職金制度の導入について：単数回答



(5) 退職金制度を導入しない理由

退職金制度を導入しない理由をたずねたところ、「退職金制度は短期の勤務を前提とするパートタイマーにはなじまないと考えるため」が60.8%と最も多く、次いで「資金的余裕がないため」が38.5%、「パートタイマーに、退職金よりも賃金の引き上げを求められるため」が19.7%などとなっている。

図 11 退職金制度を導入しない理由：複数回答



II. 個人調査

1. 退職金制度保有企業の選択

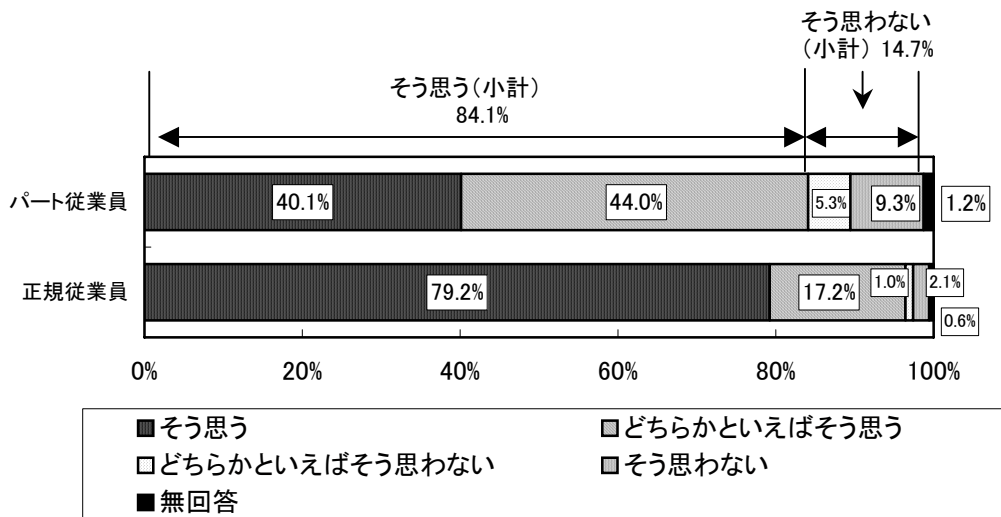
(1) 退職金制度保有企業の選択意向

正規従業員に退職金制度がある企業を勤め先に選びたいかたずねたところ、「そう思う」が 79.2%と 8 割を占めており、「どちらかといえばそう思う」(17.2%) と合わせると『そう思う (計)』は 96.4%と大部分を占める。「どちらかといえばそう思わない」(1.0%) と「そう思わない」(2.1%) を合わせた『そう思わない (計)』は 3.0%と 1 割に満たない。

パート従業員では、「そう思う」が 40.1%、「どちらかといえばそう思う」が 44.0%で、それらを合わせると『そう思う (計)』は 84.1%を占めている。「どちらかといえばそう思わない」(5.3%) と「そう思わない」(9.3%) を合わせた『そう思わない (計)』は 14.7%となっている。

正規従業員とパート従業員の結果を比較すると、正規従業員は「そう思う」が 79.2%と 8 割近くを占め、パート従業員の 40.1%を大きく上回っており、パート従業員は、正規従業員に比べ退職金制度保有企業の選択意向は低くなっている。

図 12 退職金制度保有企業の選択 (パート N=805、正規 N=1,998) : 単数回答



2. 退職金制度の現状

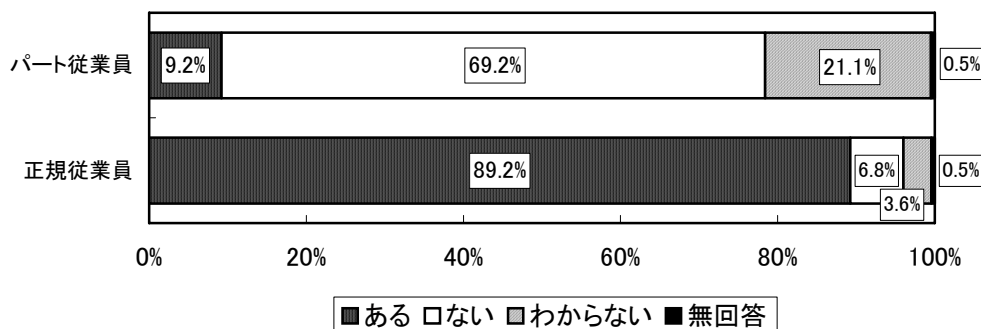
(1) 退職金制度の有無

正規従業員に対して、勤務先の退職金制度の有無についてたずねたところ、「ある」が 89.2%と大部分を占めており、「ない」は 6.8%となっている。

パート従業員では、「ある」が 9.2%で、「ない」 69.2%となっている。

正規従業員とパート従業員の結果を比べると、パート従業員への退職金制度の整備は、正規従業員に比べ進んでいない。

図 13 退職金制度の有無 (パート N=805、正規 N=1,998) : 単数回答



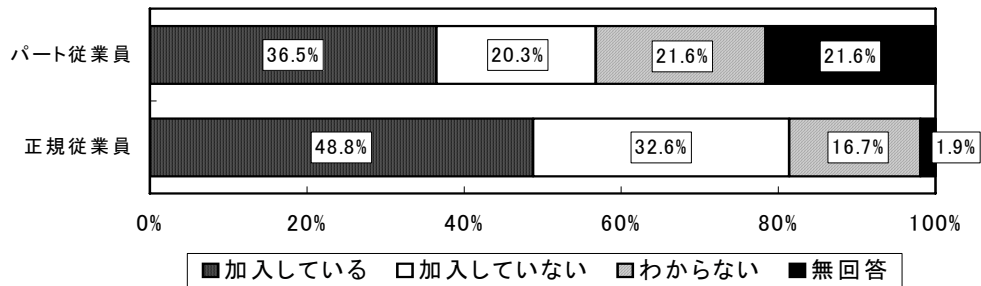
(2) 中退共制度加入状況

勤務先に退職金制度が「ある」と回答した正規従業員に、中退共制度の加入の有無についてたずねたところ、「加入している」は48.8%と半数で、「加入していない」は32.6%となっている。

パート従業員では、「加入している」が36.5%、「加入していない」が20.3%となっている。

正規従業員とパート従業員の結果を比較すると、「加入している」、「加入していない」ともにパート従業員は正規従業員に比べ低くなっている。

図 14 中退共制度加入状況 (パート N=74、正規 N=1,783) : 単数回答



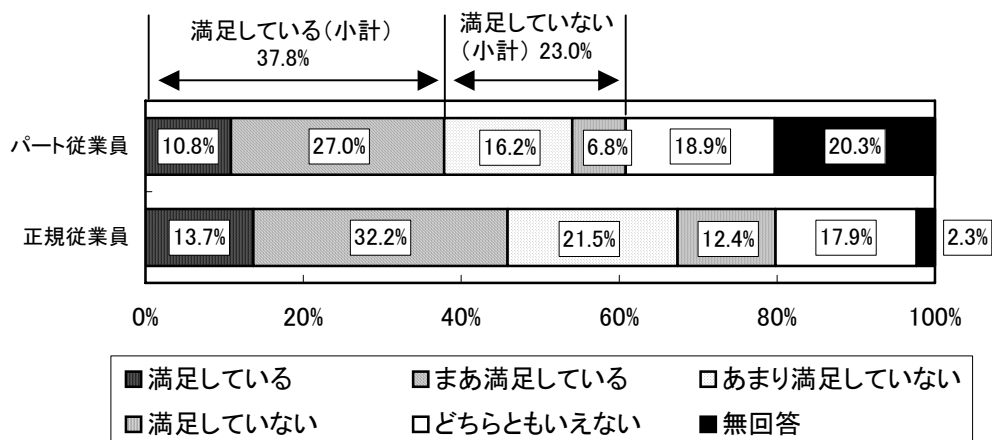
(3) 退職金制度の満足度

勤務先に退職金制度が「ある」と回答した正規従業員に退職金制度に満足しているかたずねたところ、「満足している」が13.7%、「まあ満足している」が32.2%で、それらを合わせると『満足している (計)』は45.9%となっている。一方、「あまり満足していない」が21.5%、「満足していない」が12.4%で、それらを合わせた『満足していない (計)』は、33.9%となっている。

パート従業員では、退職金制度に満足しているかたずねたところ、「満足している」は10.8%、「まあ満足している」が27.0%で、それらを合わせると『満足している (計)』は37.8%となっている。一方、「あまり満足していない」が16.2%、「満足していない」が6.8%で、それらを合わせると『満足していない (計)』は23.0%となっている。

正規従業員とパート従業員の結果を比較すると、『満足している (計)』についても『満足していない (計)』についても、パート従業員は正規従業員に比べ低くなっている。

図 15 退職金制度の満足度 (パート N=74、正規 N=1,783) : 単数回答



3. 今後の退職金制度について

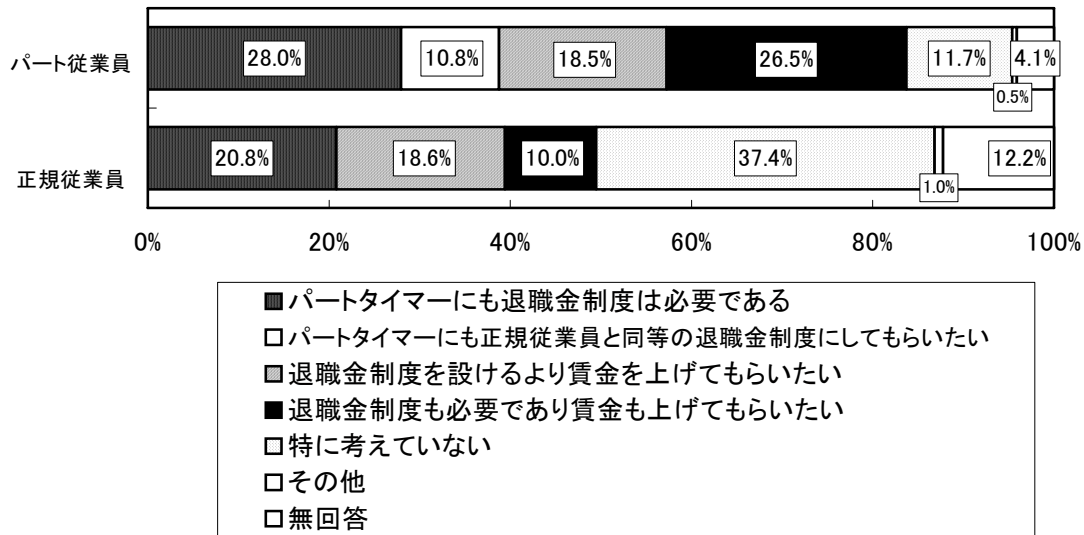
(1) パートタイマーの退職金制度について

正規従業員に、パートタイマーの退職金制度について、どのように考えているかたずねたところ、「パートタイマーにも退職金制度は必要である」が 20.8%と最も多く、次いで「パートタイマーに退職金制度を設けるより、パートタイマーの賃金を上げてもらいたい」が 18.6%、「パートタイマーにも退職金制度は必要であるが、パートタイマーの賃金も上げてもらいたい」が 10.0%となっている。「特に考えていない」は 37.4%を占めている。

パート従業員では、「パートタイマーにも退職金制度は必要である」は 28.0%と最も多く、次いで「退職金制度も必要であり、賃金も上げてもらいたい」は 26.5%、「退職金制度を設けるより賃金を上げてもらいたい」は 18.5%、「パートタイマーにも正規従業員と同等の退職金制度にしてもらいたい」が 10.8%となっている。

正規従業員とパート従業員の結果を比較すると、「退職金制度を設けるより賃金を上げてもらいたい」はほぼ同率となっているが、「パートタイマーにも退職金制度は必要である」、「退職金制度も必要であり賃金も上げてもらいたい」は、正規従業員よりパート従業員の希望割合が高くなっている。

図 16 パートタイマーの退職金制度 (N=805、N=1,783)：単数回答



※「パートタイマーにも正規従業員と同等の退職金制度にしてもらいたい」はパート従業員のみを選択肢